

令和 7 年度

入学者選抜要項

本冊子では、以下の入試区分の概要を説明しています。
具体的な出願方法等、詳細については別に発行する各入試の
『学生募集要項』をご確認ください。

- 一般選抜（前期日程・後期日程）
・・・11 月上旬本学ホームページで公開
- 総合型選抜・・・7 月下旬発行

奈良教育大学

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学入試課

TEL 0742-27-9126

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

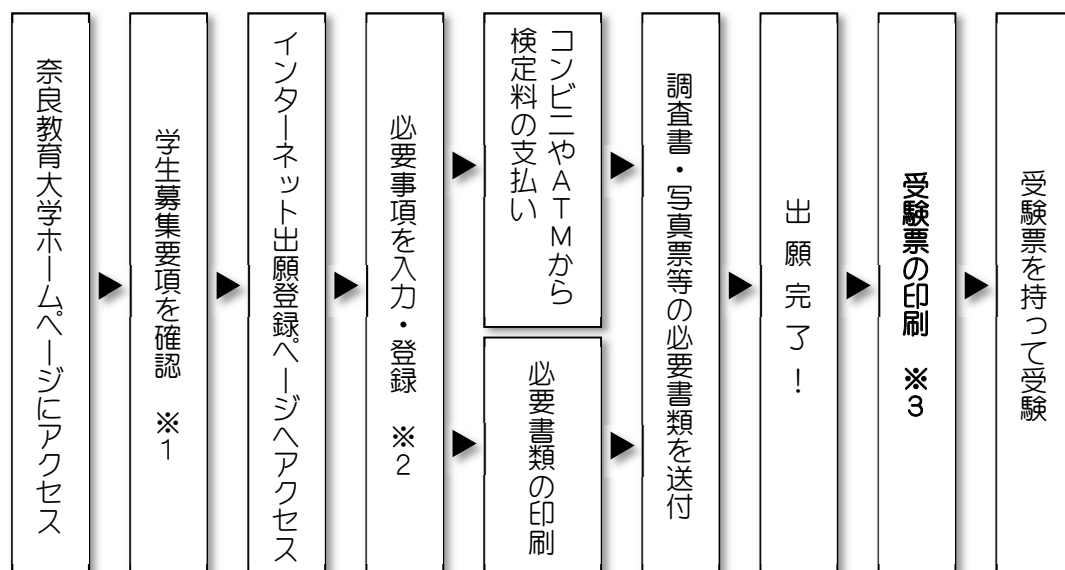
目 次

インターネット出願の流れ	1
I. 教育学部入学定員及び募集人員	2
II. 令和7年度奈良教育大学入学試験日程一覧	3
III. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
IV. 一般選抜への出願について	4
V. 一般選抜	5
1. 出願資格	5
2. 選抜方法	6
3. 一般選抜の日程	6
4. 出願方法	6
VI. 総合型選抜	7
1. 選抜方法等	7
2. 総合型選抜の日程	7
VII. 受験上の配慮等に関する事前相談について	7
1. 相談の期日	7
2. 相談の方法	7
3. 提出先	7
VIII. 学生募集要項の請求方法等	8
別表1. 令和7年度一般選抜における実施教科・科目・配点等について	10
別表2. 一般選抜における実技検査等の内容・評価の観点	20
別表3. 一般選抜における小論文の内容・評価の観点	22
別表4. 一般選抜における面接の内容・評価の観点	23
別表5. 一般選抜における専門科目の出題範囲	23
別表6. 令和7年度総合型選抜における選抜方法等について	24
別表7. 総合型選抜における第一次選考（専修）の内容・評価の観点、加点対象となる公的な資格等	26
別表8. 総合型選抜における第二次選考（大学入学共通テスト）利用教科・科目一覧	28
IX. 令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目の旧教育課程履修者等に対する経過措置について	31

※郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の郵便切手が必要になりますので注意してください。

インターネット出願の流れ

一般選抜（前期日程・後期日程）は、インターネットによる出願にて受付をします。
出願までの流れは以下のとおりです。



- ※1 一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項については、11月上旬にホームページ上で公開いたします。
- ※2 自宅以外のパソコンからでも出願登録ができます。事情によりインターネットを利用できない場合は早めに入試課まで連絡してください。
- ※3 出願期間終了後、令和7年2月10日（月）頃に受験票の印刷が可能になる予定です。受験票の印刷が可能になりましたら、本学ホームページの入試情報でお知らせします。
(<https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/>)

I. 教育学部入学定員及び募集人員

課程・専攻			専修・履修分野	入学定員 (名)	募集人員 (名)		募集人員内訳(名)				
							一般選抜 (注1)		総合型選抜 (注1・3)		
							前期 日程	後期 日程			
学校教育 教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		255	15		8	3	4		
		心理学専修			15		9	4	2		
		幼年教育専修			13		8	3	2		
		特別支援教育専修			12		6	3	3		
	教科教育専攻(注2)	国語教育専修	初等教育履修分野		25	13	9	2	2		
			中等教育履修分野				12	8	2	2	
		社会科教育専修	初等教育履修分野		25	14	10	2	2		
			中等教育履修分野				11	7	2	2	
		数学教育専修	初等教育履修分野		26	14	9	3	2		
			中等教育履修分野				12	8	2	2	
		理科教育専修	初等教育履修分野		29	17	11	4	2		
			中等教育履修分野				12	7	3	2	
		音楽教育専修	初等教育履修分野		18	14	8	4	2		
			中等教育履修分野				4	3	1	—	
		美術教育専修	初等教育履修分野		11	7	3	2	2		
			中等教育履修分野				4	2	1	1	
		保健体育専修	初等教育履修分野		19	11	5	4	2		
			中等教育履修分野				8	3	3	2	
		家庭科教育専修	初等教育履修分野		9	5	1	1	3		
			中等教育履修分野				4	3	1	—	
		技術教育専修					4		2	1	1
		英語教育専修					12		6	4	2
	伝統文化 教育専攻	書道教育専修					15		9	5	1
		文化遺産教育専修					7		4	2	1
合 計				255	255	149	62	44			

(注1)総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、一般選抜の募集人員に加えます。

(注2)一般選抜において、以下の専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第1志望に、他方を第2志望にすることができます。いずれかの履修分野を第1志望又は第2志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第2志望を選択せず、第1志望のみの出願も可能です。

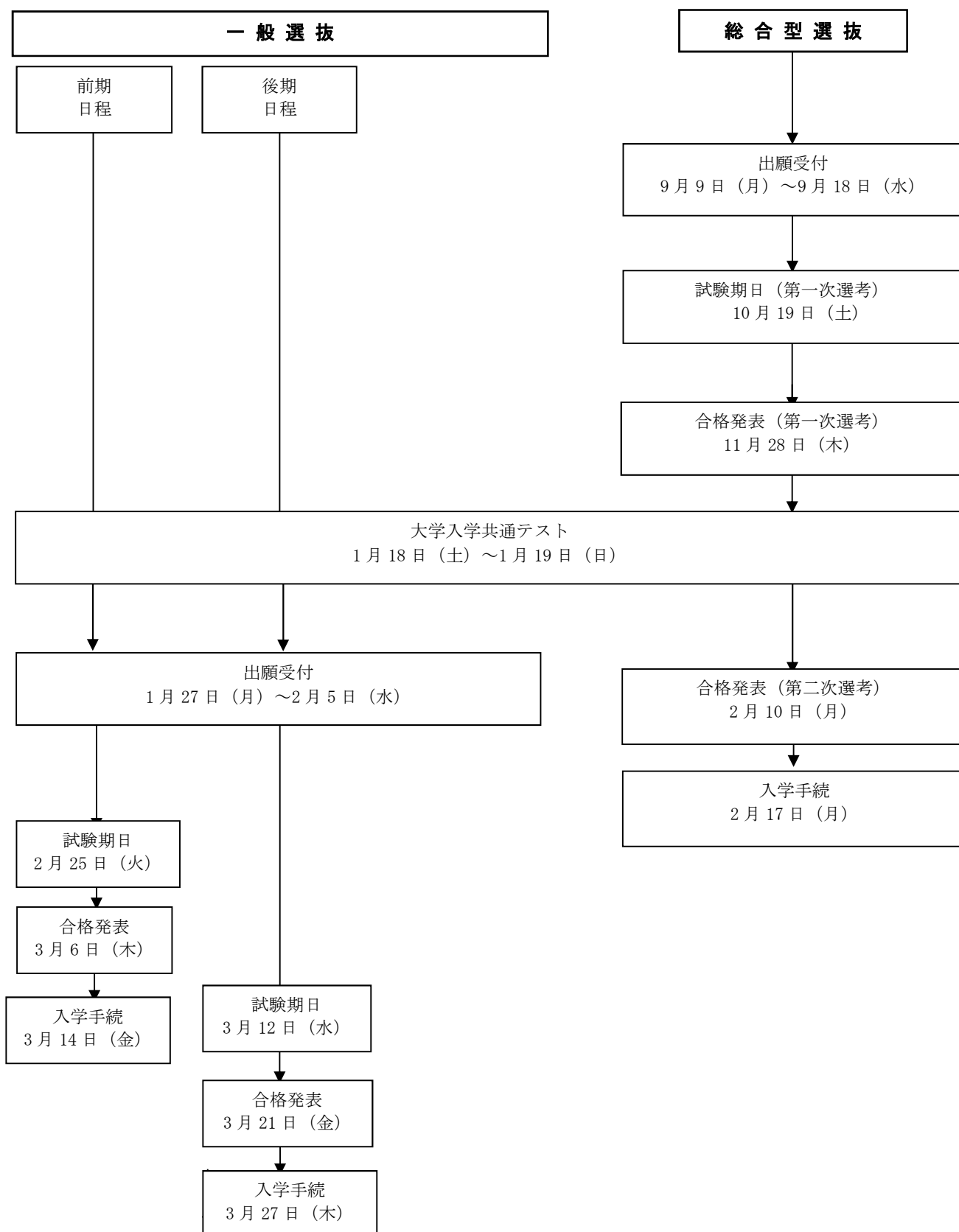
【前期日程・後期日程】

国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、家庭科教育専修

(注3)総合型選抜において、以下の専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第1志望に、他方を第2志望にすることができます。いずれかの履修分野を第1志望又は第2志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第2志望を選択せず、第1志望のみの出願も可能です。

国語教育専修、社会科教育専修、理科教育専修、美術教育専修、保健体育専修

Ⅱ. 令和7年度奈良教育大学入学試験日程一覧



Ⅲ. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

入学者選抜の基本方針

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜、編入学試験及び転入学試験により入学者を選抜します。

Ⅳ. 一般選抜への出願について

国立大学の一般選抜は、**分離分割方式**によって実施します。

— 分離分割方式 —

- (1) 入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、まず、「前期日程」の試験を実施し、その合格者の発表を行い、合格者に入学手続を行わせ、次に、「後期日程」の試験の実施とその合格者の発表を行い、入学手続を行わせる。
- (2) この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても、「後期日程」の大学・学部合格者とはしない。
- (3) 「前期日程」又は「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」又は「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものとして取り扱う。

※合格者の入学手続について

1つの国公立大学・学部に入学者手続を行った者は、これを取消して他の国公立大学・学部に入学者手続を行うことはできません。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つまでの大学・学部に出願し、受験することができます。

従って、「前期日程－前期日程」、「後期日程－後期日程」の組合せでの併願はできません。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は「<https://www.nyushikakomon.jp/>」にて公表しておりますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

V. 一般選抜【インターネット出願】

一般選抜に出願する場合は、**インターネットによる出願**を行ってください。ただし、事情によりインターネットによる出願ができない場合は、早めに入試課まで連絡してください。

1. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、**令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験した者**です。

※ 本学は、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和7年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和7年3月末までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - カ. 高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - キ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年4月1日までに18歳に達する者
- [注]上記(2)に該当する者は、特別支援学校の高等部を修了した者及び高等専門学校の第3年次を修了した者です。

個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格(3)キ.により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。令和7年度入学試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者が対象ですので、以下により申請してください。

(1) 申請期間

大学入学共通テストを受験する者：令和6年8月5日（月）～令和6年8月7日（水）（必着）

（注）大学入学共通テストを受験後、志望大学を変更して本学の一般選抜を受験する場合は、以下により申請してください。

大学入学共通テストを受験した者：令和7年1月20日（月）～令和7年1月22日（水）（必着）

※ 資格審査を申請する際は、必ず事前に入試課宛に電話連絡のうえ、申請してください。

(2) 申請先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

電話：0742-27-9126

※ 申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、簡易書留速達郵便とすること。

(3) 申請書類（①～⑤の全てを揃えて提出してください。）

① 入学資格審査申請書

様式は窓口、本学ホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/>）及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する方は、表に「入学資格（一般選抜）審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒（84円分の郵便切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒）を入れて、入試課まで送付してください。

- ② 当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類（学則など）
 - ③ 当該学校の教育内容等が証明できる書類（カリキュラム表、授業時間数一覧など）
 - ④ 当該学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
 - ⑤ 返信用封筒（694 円分の郵便切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形 3 号定形郵便封筒）
- (4) 審査基準
- 申請者の当該学校の教育課程等（修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等）が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、申請者の学力が高等学校を卒業した者と同等以上であるかを審査します。
- (5) 審査結果の通知
- 審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封します。
- 資格認定を受けた者は、出願時に「奈良教育大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

2. 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績、調査書等の内容を総合して選抜します。

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目・配点及び個別学力検査等の教科・科目・配点は、**10～19 ページの別表 1**に記載のとおりです。
- (2) 実技検査等の内容・評価の観点は、**20～21 ページの別表 2**に記載のとおりです。
- (3) 小論文の内容・評価の観点は、**22 ページの別表 3**に記載のとおりです。
- (4) 面接の内容・評価の観点は、**23 ページの別表 4**に記載のとおりです。
- (5) 専門科目の出題範囲は、**23 ページの別表 5**に記載のとおりです。
- (6) 音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修では、実技検査の得点（別表 1「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄の「実技」の得点）が満点の 1/2 未満の場合は不合格となります。
- (7) 入学手続後、入学者が定員に満たない場合は、追加合格により欠員補充を行います。それでもなお欠員がある場合は、第 2 次募集により欠員補充を行います。

3. 一般選抜の日程

前期日程 令和 7 年 2 月 25 日（火）

後期日程 令和 7 年 3 月 12 日（水）

4. 出願方法

出願期間中に開設するインターネット出願サイトにて出願登録し、調査書・写真票等必要書類を郵送してください。

VI. 総合型選抜

1. 選抜方法等

- (1) ①将来、学校教員になることを希望する者、②将来、本学大学院への進学を希望する者のいずれかに該当するものに対し、第一次選考（専修）及び第二次選考（大学入学共通テスト）の結果を総合して選抜します。詳細は、**24～25 ページの別表 6**のとおりです。
- (2) 第一次選考（専修）の内容・評価の観点、加対象となる公的な資格等については、**26～27 ページの別表 7**のとおりです。
- (3) 第二次選考（大学入学共通テスト）の利用教科・科目一覧については、**28～30 ページの別表 8**のとおりです。
- (4) 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書を出願時に提出してください。
- (5) 第一次選考（専修）において実技を課す専修を志願する場合、受験時に持ち物が必要となります。

2. 総合型選抜の日程

第一次選考（専修）

令和 6 年 10 月 19 日（土）

第二次選考（大学入学共通テスト）

令和 7 年 1 月 18 日（土）及び 1 月 19 日（日）

VII. 受験上の配慮等に関する事前相談について

疾病、障害又はその他の理由のために、受験上の特別な配慮を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期日

- (1) 総合型選抜への出願者 令和 6 年 8 月 23 日（金）まで
 - (2) 一般選抜への出願者 令和 7 年 1 月 22 日（水）まで
- ※いずれも当日必着

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）を作成して提出してください。（理由が疾病、障害の場合は、医師の診断書を添付すること。）

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身学校関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身学校名
- (2) 疾病、障害その他の理由の種類、程度
- (3) 志望予定専攻・専修・履修分野
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先（住所、電話番号等）

3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

Ⅷ. 学生募集要項の請求方法等

〔学生募集要項の種別と発表予定時期〕

学生募集要項の種別	発表予定時期
一般選抜	令和 6 年 11 月上旬
総合型選抜	令和 6 年 7 月下旬

学生募集要項（出願の詳細、出願書類等を含む要項）の請求方法は次のとおりです。

1. 〔テレメール〕大学のホームページから請求する場合

奈良教育大学のホームページに掲載のテレメールにより、直接請求できます。詳しくは本学ホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/>) をご覧ください。

2. 〔テレメール〕で請求する場合

(1) テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	QRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	
---------	---	-------------------------------------	---

(2) 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始日（予定）
一般選抜学生募集要項＋大学案内	545752	令和 6 年 11 月上旬
一般選抜学生募集要項	585652	令和 6 年 11 月上旬
総合型選抜学生募集要項＋大学案内	585662	令和 6 年 7 月下旬
総合型選抜学生募集要項	545762	令和 6 年 7 月下旬

※ 請求にあたっての料金については、テレメールサイト (<https://telemail.jp>) で資料請求番号を入力するうえ、ご確認ください。

(3) ガイダンスに従って登録してください。

注意事項

※資料は通常、発送日のおおむね 3～5 日後にお届けできます。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに 1 週間ほど要する場合があります。

※16 時までの受付は当日発送、16 時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※随時発送の資料が 1 週間以上（予約受付の資料は発送開始日から 1 週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後 2 週間以内に表示料金をお支払いください。

※料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, au PAY）」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ払いとスマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, au PAY）は 118 円、携帯キャリア払い、PayPay とクレジットカード払いは 30 円が別途必要です。1 回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

※請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。

2. 〔テレメール〕で請求する場合の請求方法についてお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター

TEL:050-8601-0102（受付時間 9:30～18:00）まで

3. 「モバっちょ」インターネットで請求する場合（大学案内、総合型選抜学生募集要項のみ）

<https://djc-mb.jp/nara-edu3/> にアクセスし、ガイダンスに従ってご請求ください。

「モバっちょ」

「モバっちょ」では、資料請求料金はクレジットカード決済、携帯払いでお支払いいただけます。また、コンビニ後払いを選択することも可能です。

※携帯払いは携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用になれない場合があります。



3. の請求方法についてのお問い合わせは

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL:050-3540-5005（平日 10:00～18:00）まで

4. 窓口で請求する場合

月曜日から金曜日の 9 時から 17 時まで、入試課窓口で配付します。（祝日等及び平日 12 時から 13 時を除く。）

5. 郵送により請求する場合

必要とする学生募集要項の種類（総合型選抜学生募集要項）を入試課宛の封筒の表に朱書きし、返信用封筒（送料分の郵便切手を貼付し、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した角形 2 号（縦 33.2cm×横 24cm）定形外郵便封筒）及び請求者の連絡先（平日の日中連絡のつく電話番号、メールアドレス等の情報、様式任意）を同封のうえ、請求してください。請求する学生募集要項の種別により送料が異なりますので、本学ホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/claim1.html>）で確認するか、入試課（TEL：0742-27-9126、E-mail:nyuusi@nara-edu.ac.jp）までお問い合わせください。

なお、返信用封筒のない場合や郵便切手不足の場合は送付できませんので、注意してください。

（請求先）〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

令和7年度一般選抜における

実施教科・科目・配点等について

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法等		
教科等	科目等	試験の区分	国語	数学	地歴	公民	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	自己推薦書	配点 合計	
その他	小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								300				300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	300				1,300	
その他	小論文	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力 検査等								300				300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100	300				900	
その他	小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								300				300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	300				1,300	
その他	小論文	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力 検査等								300				300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100	300				900	
その他	小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								300				300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	300				1,300	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力 検査等									300			300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100		300			900	
その他	小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								300				300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	300				1,300	
その他	小論文	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	追加合格 欠員補充
		個別学力 検査等								300				300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100	300				900	

令和7年度一般選抜における

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
					教科	出 願 科 目 名 等	
教育学部 255名 前期 149名 後期 62名 総合型 44名	学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻	国語教育専修 25名 初等教育履修分野 13名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から2
				前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から2
			数学教育専修 26名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 3名 中等教育履修分野 2名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				前期 2月25日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2
				後期 3月12日	国数 地歴 公民 理	〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 〔国〕 〔数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ〕 〔数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕	必須 から1 必須 から1又は2

実施教科・科目・配点等について

(2/4)

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												配点 合計	その他の 選抜方法等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴	公民	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	自己推薦書		
国語	専門科目	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	追加合格 欠員補充
		個別学力検査等	300											300	
		計	500	200	※300	※300	※300	200	100					1,300	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	200	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					700	追加合格 欠員補充
		個別学力検査等										300		300	
		計	200	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100			300		1,000	
その他	小論文	共通テスト	200	200	○200	○200	100	200	100					1,000	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300				300	
		計	200	200	○200	○200	100	200	100	300				1,300	
その他	小論文	共通テスト	100	100	○200	○200	100	100	100					700	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300				300	
		計	100	100	○200	○200	100	100	100	300				1,000	
数学	専門科目	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等		400										400	
		計	200	600	※300	※300	※300	200	100					1,400	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	100	200	※※ 100	※※ 100	100	100	100					700	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等										400		400	
		計	100	200	※※ 100	※※ 100	100	100	100			400		1,100	
理科	専門科目	共通テスト	200	200	※※ 100	※※ 100	200	200	100					1,000	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等					300							300	
		計	200	200	※※ 100	※※ 100	500	200	100					1,300	
理科	専門科目	共通テスト	200	200	※※ 100	※※ 100	200	200	100					1,000	総合型 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等					400							400	
		計	200	200	※※ 100	※※ 100	600	200	100					1,400	

令和7年度一般選抜における

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
					教科	出 題 科 目 名 等
教育学部 255名 前期 149名 後期 62名 総合型 44名	学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 専攻 課程	音楽教育専修 18名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 4名 前期 初等教育履修分野 8名 中等教育履修分野 3名 後期 初等教育履修分野 4名 中等教育履修分野 1名 総合型 初等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1又は2
					地歴 公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A〔物基/化基/生基/地基〕から2 B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2 A又はB C又はD
					外情	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕 〔情Ⅰ〕 から1 必須
				後期 3月12日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1 A又はB
			美術教育専修 11名 初等教育履修分野 7名 中等教育履修分野 4名 前期 初等教育履修分野 3名 中等教育履修分野 2名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 1名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 1名	前期 2月25日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1 A又はB
					地歴 公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A〔物基/化基/生基/地基〕から2 B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2 A又はB C又はD
					外情	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕 〔情Ⅰ〕 から1 必須
				後期 3月12日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1 A又はB
			保健体育専修 19名 初等教育履修分野 11名 中等教育履修分野 8名 前期 初等教育履修分野 5名 中等教育履修分野 3名 後期 初等教育履修分野 4名 中等教育履修分野 3名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1又は2
					地歴 公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A〔物基/化基/生基/地基〕から2 B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2 A又はB C又はD
					外情	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕 〔情Ⅰ〕 から1 必須
				後期 3月12日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1 A又はB
			家庭教育専修 9名 初等教育履修分野 5名 中等教育履修分野 4名 前期 初等教育履修分野 1名 中等教育履修分野 3名 後期 初等教育履修分野 1名 中等教育履修分野 1名 総合型 初等教育履修分野 3名	前期 2月25日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1又は2
					地歴 公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 A〔物基/化基/生基/地基〕から2 B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1 D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2 A又はB C又はD
					外情	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕 〔情Ⅰ〕 から1 必須
				後期 3月12日	国数	〔国〕 〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕 〔数Ⅱ、数B、数C〕 〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕 〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕 必須 から1 必須 から1 A又はB

実施教科・科目・配点等について

(3/4)

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の選抜方法等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴	公民	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	自己推薦書	配点	合計
その他	実技検査 (音楽実技) 小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力検査等								100	350			450	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	100	350			1,450	
その他	実技検査 (音楽実技) 小論文	共通テスト	100	100	※※100	※※100	100	100	100					600	
		個別学力検査等								100	400			500	
		計	100	100	※※100	※※100	100	100	100	100	400			1,100	
その他	実技検査 (美術実技) 小論文	共通テスト	200	100	▲100	▲100	100	200	100					800	総合型
		個別学力検査等								100	△300			400	追加合格 欠員補充
		計	200	100	▲100	▲100	100	200	100	100	△300			1,200	
その他	実技検査 (美術実技) 小論文	共通テスト	100	100	▲100	▲100	100	100	100					600	
		個別学力検査等								150	△450			600	
		計	100	100	▲100	▲100	100	100	100	150	△450			1,200	
その他	実技検査 (体育実技) 小論文 自己推薦書	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1000	総合型
		個別学力検査等								100	400		50	550	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	100	400		50	1,550	
その他	実技検査 (体育実技) 小論文 自己推薦書	共通テスト	100	100	※※100	※※100	100	100	100					600	
		個別学力検査等								100	450		50	600	
		計	100	100	※※100	※※100	100	100	100	100	450		50	1,200	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力検査等										300		300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100			300		1,300	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	100	100	※※100	※※100	100	100	100					600	
		個別学力検査等										300		300	
		計	100	100	※※100	※※100	100	100	100			300		900	

令和7年度一般選抜における

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			
					教科	出 願 科 目 名 等		
教育学部	255名 前期 149名 後期 62名 総合型 44名	技術教育専修 4名 中等教育履修分野 4名 前期 中等教育履修分野 2名 後期 中等教育履修分野 1名 総合型 中等教育履修分野 1名	前期 2月25日	国数	〔6教科8科目若しくは9科目〕又は〔7教科8科目若しくは9科目〕	〔国〕	必須	
				〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1		
				〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須		
				〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1又は2		
				〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕				
				地歴公民から2科目選択した場合		A〔物基/化基/生基/地基〕から2	⇨ A又はB	
			地歴公民から1科目選択した場合	B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1	⇨ C又はD			
			C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1					
			D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2					
			〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1				
			〔情Ⅰ〕	必須				
			外情					
		後期 3月12日	国数	〔6教科6科目若しくは7科目〕	〔国〕	必須		
			〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1			
			〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須			
			〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1			
			〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕					
			A〔物基/化基/生基/地基〕から2		A又はB			
		B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1						
		C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1						
		D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2						
		〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1					
		〔情Ⅰ〕	必須					
		外情						
英語教育専修 12名 中等教育履修分野 12名 前期 中等教育履修分野 6名 後期 中等教育履修分野 4名 総合型 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数	〔6教科8科目若しくは9科目〕又は〔7教科8科目若しくは9科目〕	〔国〕	必須			
		〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1				
		〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須				
		〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1又は2				
		〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕						
		地歴公民から2科目選択した場合		A〔物基/化基/生基/地基〕から2	⇨ A又はB			
	地歴公民から1科目選択した場合	B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1	⇨ C又はD					
	C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1							
	D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2							
	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1						
	〔情Ⅰ〕	必須						
	外情							
後期 3月12日	国数	〔6教科6科目若しくは7科目〕	〔国〕	必須				
	〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1					
	〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須					
	〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1					
	〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕							
	A〔物基/化基/生基/地基〕から2		A又はB					
B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2								
〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1							
〔情Ⅰ〕	必須							
外情								
書道教育専修 15名 前期 9名 後期 5名 総合型 1名	前期 2月25日	国数	〔6教科8科目若しくは9科目〕又は〔7教科8科目若しくは9科目〕	〔国〕	必須			
		〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1				
		〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須				
		〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1又は2				
		〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕						
		地歴公民から2科目選択した場合		A〔物基/化基/生基/地基〕から2	⇨ A又はB			
	地歴公民から1科目選択した場合	B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1	⇨ C又はD					
	C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1							
	D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2							
	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1						
	〔情Ⅰ〕	必須						
	外情							
後期 3月12日	国数	〔4教科5科目〕又は〔5教科5科目若しくは6科目〕	〔国〕	必須				
	〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1					
	〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須					
	〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1 ◆					
	〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕							
	A〔物基/化基/生基/地基〕から2							
B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2								
〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1							
〔情Ⅰ〕	必須							
外情								
文化遺産教育専修 7名 前期 4名 後期 2名 総合型 1名	前期 2月25日	国数	〔6教科8科目若しくは9科目〕又は〔7教科8科目若しくは9科目〕	〔国〕	必須			
		〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1				
		〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須				
		〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1又は2				
		〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕						
		地歴公民から2科目選択した場合		A〔物基/化基/生基/地基〕から2	⇨ A又はB			
	地歴公民から1科目選択した場合	B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1	⇨ C又はD					
	C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1							
	D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2							
	〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1						
	〔情Ⅰ〕	必須						
	外情							
後期 3月12日	国数	〔6教科6科目若しくは7科目〕	〔国〕	必須				
	〔数Ⅰ、数A〕、〔数Ⅰ〕		から1					
	〔数Ⅱ、数B、数C〕		必須					
	〔地総、地探〕、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕		から1					
	〔地総/歴総/公〕、〔公、倫〕、〔公、政・経〕							
	A〔物基/化基/生基/地基〕から2		A又はB					
B〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
C〔物基/化基/生基/地基〕から2及び〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から1								
D〔物〕、〔化〕、〔生〕、〔地〕から2								
〔英・英リ〕、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕	から1							
〔情Ⅰ〕	必須							
外情								

実施教科・科目・配点等について

(4/4)

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													その他の 選抜方法等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴	公民	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	自己推薦書	配点 合計	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等										300		300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,300	
その他	面接 (記述式 問題を含む)	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	
		個別学力 検査等										300		300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100			300		900	
英語	専門科目	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等						300						300	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	500	100					1,300	
英語	専門科目	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	200	100					700	
		個別学力 検査等						300						300	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	500	100					1,000	
その他	実技検査 (書道実技) 小論文	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								100	450			550	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	100	450			1,550	
その他	実技検査 (書道実技) 小論文	共通テスト	200	100 ◎100	◎100	◎100	◎100	100	100					600	
		個別学力 検査等								100	500			600	
		計	200	100 ◎100	◎100	◎100	◎100	100	100	100	500			1,200	
その他	小論文 (選択問題と して 造形表現を含む)	共通テスト	200	200	※300	※300	※300	200	100					1,000	総合型
		個別学力 検査等								450				450	追加合格 欠員補充
		計	200	200	※300	※300	※300	200	100	450				1,450	
その他	小論文 (選択問題と して 造形表現を含む)	共通テスト	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100					600	
		個別学力 検査等								500				500	
		計	100	100	※※ 100	※※ 100	100	100	100	500				1,100	

別表1「令和7年度一般選抜における実施教科・科目・配点等について」における留意事項

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように表記しています。	
○国語	『国語』→[国]
○数学	『数学Ⅰ、数学A』→[数Ⅰ、数A] 『数学Ⅱ』→[数Ⅱ] 『数学Ⅱ、数学B、数学C』→[数Ⅱ、数B、数C]
○地理歴史・公民	『地理総合、地理探究』→[地総、地探] 『歴史総合、日本史探究』→[歴総、日探] 『歴史総合、世界史探究』→[歴総、世探] 『地理総合／歴史総合／公共』→[地総／歴総／公] 『公共、倫理』→[公、倫] 『公共、政治・経済』→[公、政・経]
○理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→[物基／化基／生基／地基] 『物理』→[物] 『化学』→[化] 『生物』→[生] 『地学』→[地]
○外国語	『英語(リスニングを含む)』→[英・英リ] 『ドイツ語』→[独] 『フランス語』→[仏] 『中国語』→[中] 『韓国語』→[韓]
○情報	『情報Ⅰ』→[情Ⅰ]

- 複数の教科・出題科目から選択となっている場合で、複数の教科・出題科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。
- 美術教育専修については、複数の教科・出題科目から選択となっている場合で、複数の教科・出題科目を受験した場合（地理歴史・公民から2科目を受験した場合、理科から2科目を受験した場合及び数学から2科目を受験した場合）は、いずれもどちらか高得点の科目の成績を用います。
- 外国語のうち「英語」を選択した場合は、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。リスニング免除者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算するものとします。なお、各専修で定めた配点が200点満点でない場合は、更にそれを各専修が定めた配点に換算するものとします。
- 地理歴史及び公民については、以下のとおりとします。

ア 以下の6科目のうちから最大2科目を選択。
『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』

イ 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」「歴史総合」「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

ウ 地理歴史及び公民から2科目を選択する場合においては、以下に留意してください。

 - 『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
 - 『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答が可能な組合せは以下のとおりです。

○：選択可能 ×：選択不可

	『地理総合／歴史総合／公共』		
	「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
『地理総合、地理探究』	×	×	○
『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
『公共、倫理』	○	×	×
『公共、政治・経済』	○	×	×

※表中の『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

5. 理科の出題科目の選択方法Cである「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2つの出題範囲を選択し、「物理」「化学」「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において選択した2つの出題範囲と同一名称を付した科目の選択は認められません。（例：「物理基礎」と「物理」は選択できません。）

6. ※は選択教科を示し、地理歴史・公民及び理科を合わせて4出題科目以上受験した場合は、次のとおり成績を用います。

受験パターン			成績利用方法
II	地理歴史 公民	2科目	次の（１）（２）（３）とします。 （１）地理歴史・公民の第１解答科目 （２）理科の第１解答科目 （３）地理歴史・公民と理科の第２解答科目のうち高得点の科目
	理科	2科目	

7. ※※は選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
8. ○は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
9. ▲は地理歴史、公民から2科目を受験した場合、高得点の科目の成績を用います。
10. △の配点内訳は、紙による立体製作を実技検査点数全体の1/3、静物写生を実技検査点数全体の2/3とします。
11. ◆で理科を選択する場合は、選択方法A又はBから選択します。
12. ◎は地理歴史、公民の第1解答科目、理科の第1解答科目、数学（[数Ⅱ、数B、数C]）から高得点の科目の成績を用います。

別表 2

一般選抜における実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程 共通）

専攻・専修		内 容 ・ 評 価 の 観 点											
教科教育専攻	音楽教育専修	【検査内容】 以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。											
		<table><tr><td rowspan="3">共通 種目</td><td colspan="2">新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）</td></tr><tr><td colspan="2">ピアノ J. S. バッハ、J. ハイドン、W. A. モーツァルト、L. v. ベートーヴェン、F. ショパン、F. リスト、J. ブラームスの作品から1曲 ※ピアノ・ソナタや組曲からの単一楽章（曲）を抜粋する場合や、《平均律クラヴィーア曲集》からフーガのみを抜粋する場合も1曲とみなします。なお、変奏曲から一部の変奏を抜粋することは認めません。必ず出願時に明記してください。楽章などが明記されていない場合は全曲とみなし、演奏する箇所を試験当日に指定します。</td></tr><tr><td rowspan="3">選 択 種 目</td><td>A</td><td>声楽 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) A. Caldara : Sebben, crudele 二短調又はホ短調（いずれかを選択） (2) F. Gasparini : Lasciar d'amarti へ短調 (3) F. P. Tosti : Sogno 変ロ長調又は変イ長調（いずれかを選択） (4) 山田耕筰 : 赤とんぼ へ長調又は変ホ長調（いずれかを選択） (5) 成田為三 : 浜辺の歌 変イ長調又はへ長調（いずれかを選択） (6) 中田喜直 : むこうむこう へ長調</td></tr><tr><td>B</td><td>管楽器 任意の楽曲又は練習曲（1曲）</td></tr><tr><td>C</td><td>邦楽器 箏又は三味線の任意の楽曲（1曲）</td></tr></table>		共通 種目	新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）		ピアノ J. S. バッハ、J. ハイドン、W. A. モーツァルト、L. v. ベートーヴェン、F. ショパン、F. リスト、J. ブラームスの作品から1曲 ※ピアノ・ソナタや組曲からの単一楽章（曲）を抜粋する場合や、《平均律クラヴィーア曲集》からフーガのみを抜粋する場合も1曲とみなします。なお、変奏曲から一部の変奏を抜粋することは認めません。必ず出願時に明記してください。楽章などが明記されていない場合は全曲とみなし、演奏する箇所を試験当日に指定します。		選 択 種 目	A	声楽 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) A. Caldara : Sebben, crudele 二短調又はホ短調（いずれかを選択） (2) F. Gasparini : Lasciar d'amarti へ短調 (3) F. P. Tosti : Sogno 変ロ長調又は変イ長調（いずれかを選択） (4) 山田耕筰 : 赤とんぼ へ長調又は変ホ長調（いずれかを選択） (5) 成田為三 : 浜辺の歌 変イ長調又はへ長調（いずれかを選択） (6) 中田喜直 : むこうむこう へ長調	B	管楽器 任意の楽曲又は練習曲（1曲）
共通 種目	新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）												
	ピアノ J. S. バッハ、J. ハイドン、W. A. モーツァルト、L. v. ベートーヴェン、F. ショパン、F. リスト、J. ブラームスの作品から1曲 ※ピアノ・ソナタや組曲からの単一楽章（曲）を抜粋する場合や、《平均律クラヴィーア曲集》からフーガのみを抜粋する場合も1曲とみなします。なお、変奏曲から一部の変奏を抜粋することは認めません。必ず出願時に明記してください。楽章などが明記されていない場合は全曲とみなし、演奏する箇所を試験当日に指定します。												
	選 択 種 目	A	声楽 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) A. Caldara : Sebben, crudele 二短調又はホ短調（いずれかを選択） (2) F. Gasparini : Lasciar d'amarti へ短調 (3) F. P. Tosti : Sogno 変ロ長調又は変イ長調（いずれかを選択） (4) 山田耕筰 : 赤とんぼ へ長調又は変ホ長調（いずれかを選択） (5) 成田為三 : 浜辺の歌 変イ長調又はへ長調（いずれかを選択） (6) 中田喜直 : むこうむこう へ長調										
B		管楽器 任意の楽曲又は練習曲（1曲）											
C		邦楽器 箏又は三味線の任意の楽曲（1曲）											
教科教育専攻	美術教育専修	【評価の観点】 新曲視唱、ピアノ、声楽・管楽器・邦楽器の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力について評価します。											
		【持ち物】 選択種目Bを選択する者は音楽実技種目に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。											
教科教育専攻	美術教育専修	【備考】 (1) 新曲視唱については、主和音、開始音のみ与えます。 (2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。声楽曲は、調性を選んで記入してください。なお、出願後の変更は認めません。 (3) ピアノ、選択種目はすべて暗譜で演奏してください。 (4) ピアノ及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。 (5) 演奏は試験時間の都合により途中で切ることがありますが、審査に影響はありません。 (6) 声楽、管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノについては、リハーサル室はありません。 (7) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用する管楽器に限りです。 (8) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。											
		【検査内容】 以下の2課題を行います。											
教科教育専攻	美術教育専修	<table><tr><td>1. 紙による立体制作 1課題 1時間 ＜B 3判の両面色違いの造形紙＞と＜B 4判の両面色違いの造形紙＞を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td><td>2. 静物写生（着彩） 1課題 2時間 身近にある2つ程度のモチーフ〔プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器（洗剤）、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップ、紙袋、テニスボールなど〕を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td></tr></table>		1. 紙による立体制作 1課題 1時間 ＜B 3判の両面色違いの造形紙＞と＜B 4判の両面色違いの造形紙＞を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。	2. 静物写生（着彩） 1課題 2時間 身近にある2つ程度のモチーフ〔プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器（洗剤）、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップ、紙袋、テニスボールなど〕を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。								
		1. 紙による立体制作 1課題 1時間 ＜B 3判の両面色違いの造形紙＞と＜B 4判の両面色違いの造形紙＞を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。	2. 静物写生（着彩） 1課題 2時間 身近にある2つ程度のモチーフ〔プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器（洗剤）、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップ、紙袋、テニスボールなど〕を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。										
【検査時間・配当時間】 上記の配当時間は、おおよその目安ですので、合計3時間の中で自分の計画にあわせて変えてかまいません。またこの合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。													
教科教育専攻	美術教育専修	【評価の観点】 1. 紙による立体制作課題について 発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方（山折り、谷折り、じゃばら折りなど図画工作・美術の授業で用いる技法）をしているかなどを総合的にみます。 2. 静物写生（着彩）について 形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。 1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる資質・能力が備わっているのかをみます。											
		【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式（アクリル系絵の具は不可）、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。その他の用具は持参してはいけません。 なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル（画架）は、大学で用意するので不要です。											

教科教育専攻	保健体育専修	【検査内容】 以下の5種目の検査を行います。 1. 50m走 2. ハンドボール投げ 3. 鉄棒運動 4. マット運動 5. ボール運動 【評価の観点】 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。 【持ち物】 運動靴（屋内用と屋外用の2足）を持参してください。また、必要に応じて、雨具（傘など）・防寒服・飲料水を持参してください。 【備考】 (1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) ウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。 (4) 更衣室を用意しますが、できるだけ運動のできる服装で来てください。
伝統文化教育専攻	書道専修	【検査内容】 以下の課題により、高校『書道Ⅰ』、『書道Ⅱ』教科書に掲載されている古典等に基づく書道の表現能力をみます。 1. 臨書 漢字（楷書・行書）、仮名。いずれも半紙程度 2. 創作 半紙使用（漢字または仮名の課題のうち、いずれか1つを選択して創作してください。） 【評価の観点】 1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができているか、用紙にバランスよく収めることができているかをみます。 2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができているか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。 【持ち物】 太筆（半紙6字書き程度）、仮名用細筆、墨（固形墨の使用が望ましいが、磨墨したものや墨液の使用も認めます。）、硯、文鎮、練習用半紙、下敷（半紙用）等、書道用具一式を持参してください。

別表3

一般選抜における小論文の内容・評価の観点

小論文では各専修に即した論述問題を課すことで主に「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価します。具体的な小論文の内容・評価の観点は以下のとおりです。

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育 発達 専攻	教育学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	心理学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	幼儿教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。)
	特別支援教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
教科 教育 専攻	社会科教育専修	前期日程 後期日程	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうかをみます。
		前期日程 後期日程	音楽教育や音楽芸術分野に関する諸問題について出題します。出題の内容と意図を理解した上で関心と基礎知識を応用し、論理性、説得力のある記述ができるかどうかを総合的に評価します。
	美術教育専修	前期日程 後期日程	図画工作・美術と教育に関する知識や諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	保健体育専修	前期日程 後期日程	現代社会における保健体育、健康、スポーツに関する諸問題について記述させ、出題の意図の把握、問題意識、論理的な文章表現等を総合的に評価します。
伝統 文化 教育 専攻	書道教育専修	前期日程 後期日程	書道に関する基礎知識(中国および日本の書道史の概略、代表的な古典名、筆者名、内容、用語等)と、それらをふまえた思考力、文章表現力を総合的にみます。また、現代社会における伝統文化の役割や意義、教育的課題等について、論理的に自身の考えや意見を述べるができるかをみます。あわせて、記述式解答をもとに、硬筆書写力をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
		前期日程	まず文化遺産とその教育への活用方法に対する考え方を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
	文化遺産教育専修	後期日程	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

別表4

一般選抜における面接の内容・評価の観点

面接の中で「思考力・判断力・表現力等の能力」を適切に評価するために、記述式問題を課します。

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教科教育専攻	教育発達 幼年教育専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育（保育）の問題意識、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	国語教育専修	後期日程	集団面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、入学後の学習計画、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	家庭科教育専修	前期日程 後期日程	個人面接の形式で、家庭基礎に係る知識、教科内容に関する関心、科学的思考力、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	技術教育専修	前期日程 後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。

別表5

一般選抜における専門科目の出題範囲

専攻・専修		科目	区分	出題範囲
教科教育専攻	国語教育専修	国語	前期日程	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「国語表現」、「古典探究」
	数学教育専修	数学	前期日程	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」の全範囲 「数学A」（「図形の性質」、「場合の数と確率」）、 「数学B」（「数列」、「統計的な推測」）、 「数学C」（「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」）
	理科教育専修	理科	前期日程 後期日程	①「物理基礎・物理」 ②「化学基礎・化学」 ③「生物基礎・生物」 ④「地学基礎・地学」 } いずれか選択 (注) 選択科目しか受験できません。
	英語教育専修	英語	前期日程 後期日程	「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、 「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、 「論理・表現Ⅲ」

※ 旧教育課程履修者等に対して特別な措置はとりませんが、出題内容によって配慮します。

別表6

令和7年度総合型選抜における選抜方法等について

実 施 学 部	教育学部			
募 集 人 員	専攻・専修・履修分野			募集人員
	教育発達専攻	教育学専修		4名
		心理学専修		2名
		幼年教育専修		2名
		特別支援教育専修		3名
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2名
		美術教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	1名
		保健体育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	3名
		技術教育専修	中等教育履修分野	1名
		英語教育専修	中等教育履修分野	2名
	伝統文化教育専攻	書道教育専修		1名
		文化遺産教育専修		1名
合 計			44 名	
出 願 要 件	以下のいずれかに該当するもの (1)将来、学校教員になることを希望する者 (2)将来、本学大学院への進学を希望する者			
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験する者 (1)高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和7年3月修了見込みの者（※） ※特別支援学校の高等部を修了した者及び高等専門学校の第3年次を修了した者 (3)学校教育法施行規則第150条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和7年3月末までにこれに該当する見込みの者 ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） カ. 高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者 キ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年4月1日までに18歳に達する者			

選 抜 方 法	(1) 第一次選考 ア. 第一次選考（専修） i. 専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験を課す。 （詳細については別表 7 の総合型選抜における第一次選考（専修）の内容・評価の観点、加点対象となる公的な資格等を参照） ii. 配点は450点とする。 イ. 共通加点枠 i. 配点は20点とする。 ii. 加点項目は下記のとおりとする。 ① 中学校卒業後、教育又は人間形成に貢献するボランティア（※）に30時間以上従事した場合（高等学校、ボランティア団体等がその旨を証明できる場合に限る。） （※）主体性等を評価する観点から学校のカリキュラム上の活動として位置づけられたものではないこと ② 各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラム（受講時間が30時間以上のものに限る。なお、各地方自治体教育委員会が単独で実施するもののほか、他機関と連携して実施するものも含む。）を修了した場合 iii. ①又は②に該当する場合の加点は20点（ただし、①及び②の両方に該当する場合の加点は20点を超えないものとする。）とする。 (2) 第二次選考 第一次選考合格者に、資格試験として大学入学共通テストを課す。 （詳細については別表 8 の総合型選抜における第二次選考（大学入学共通テスト）利用教科・科目一覧を参照）	
合 格 判 定 の 基 準	(1) 第一次選考 ア. 専修ごとに、第一次選考（専修）（配点450点）の得点に共通加点枠（配点20点）の得点を加えた総点の上位者から順番に、第一次選考合格者を決定する。 イ. ア. のうち、第一次選考（専修）の得点率が6割未満（270点未満）の場合、第一次選考不合格とする。 (2) 第二次選考 ア. 大学入学共通テストにおいて各専修が指定する科目の合計点が5割5分以上の場合、第二次選考合格とする。 イ. 各専修が指定する科目を受験していなかった場合は不合格とする。 ※第二次選考合格者が募集人員に満たない場合、一般選抜の合格発表数にその員数を追加します。	
出 願 期 間	令和 6 年 9 月 9 日（月）～9 月 18 日（水）	
試 験 期 日	(1) 第一次選考	令和 6 年 10 月 19 日（土）
	(2) 第二次選考（大学入学共通テスト）	令和 7 年 1 月 18 日（土）及び 1 月 19 日（日）
合 格 発 表 日	(1) 第一次選考	令和 6 年 11 月 28 日（木）
	(2) 第二次選考（大学入学共通テスト）	令和 7 年 2 月 10 日（月）

別表 7

総合型選抜における第一次選考（専修）の内容・評価の観点、加点対象となる公的な資格等

第一次選考（専修）では、主に以下の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 1～4 について確認・評価します。具体的な内容及び評価の観点等は下表のとおりです。

アドミッション・ポリシー（1～4 抜粋）

- 「1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人」
「2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人」
「3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人」
「4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人」

専攻	専 修	第一次選考（専修）の内容・評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教 育 発 達 専 攻	教育学専修	教育に関する資料を提示し、そのことについての講義を行い、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答を行い、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
	心理学専修	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて個人面接（志願者が多数の場合は集団面接）の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	幼年教育専修	幼児教育・保育に関する講義等を行い、その内容に即した課題についてレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーション等を課し、乳幼児や幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
	特別支援教育専修	人間（障害がある場合を含む。）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて志望動機についても確認する。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への理解や関心、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。
	社会科教育専修	人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義等を行い、レポートを課し、人文、社会等にかかる理解や関心、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	数学教育専修	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えて記述式試験で評価することがある。
	理科教育専修	自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課し、自然科学に関する関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
音 楽 専 攻	音楽教育専修	小学校音楽科の授業内容に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせる。その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、他者との協働経験、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の初等教育への意欲を評価する。実技検査として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。 ○加点対象となる公的な資格等 ・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上） 【持ち物】 受験者自身が選択した子どもの歌（1 曲）の弾き歌い用楽譜

教科教育専攻	美術教育専修	大学教員が指導者となって授業を行い、その中で、実技（図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマでの紙による立体制作）とレポートを課す。授業の中での、①導入やまとめの時間での授業者と受験者との対話、②実技内容、③図画工作・美術の内容及び現代の教育課題に関するレポートが評価対象となる。これらを通して、図画工作・美術における理解力と思考力、技能と表現力を問い、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる小学校教員や中学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。 【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾 その他の用具は持参しないこと。なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体制作用の造形紙（B 3 判の両面色違いの造形紙、B 4 判の両面色違いの造形紙）は、大学で用意するので不要。
	保健体育専修	運動に関する課題やテーマを与え、実技および筆記試験等を課すことにより、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。 上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む。）、教員を志す者としての資質、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。 【持ち物】 運動靴（室内用）・運動服（ただし、更衣室は用意しますが、できるだけ運動服で来てください）、必要に応じて雨具（傘など）・飲料水 なお、着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示する。
	家庭科教育専修	家庭科の学習内容に関するテーマを与え、それについて白板等を使って説明等を行わせる。その内容に基づいて個人面接または集団面接の形式で質疑応答等を行い、家庭科の知識・技能・理解のほか、小学校で家庭科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。 ○加点対象となる公的な資格等 ・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科保育技術検定2級以上 （公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）
	技術教育専修	ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等についてプレゼンテーションを行わせ（※）、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で中学校技術科の教員になることを目指す理由、教育への意欲、ものづくりについての経験などを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。 【持ち物】 課題を解くために、汚れる作業が必要な場合がある。それに備えて、汚れてもよい服（体操着など）を用意すること。
	英語教育専修	教育に関する講義を行い、英語のレポートを課す。また、英語でプレゼンテーションを行わせる。さらに、プレゼンテーションに基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めない。 ○加点対象となる公的な資格等 ・英検1級、英検準1級、英検2級
	英語教育専修	
伝統文化教育専攻	書道教育専修	書道（楷書、行書、仮名）に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、書道についての理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育に関する資質及び意欲等について確認する。 【持ち物】 漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に4文字から6文字用の筆・古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（固形墨の使用が望ましいが、磨墨したものや墨液の使用も認めます。）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式
	文化遺産教育専修	文化遺産の材質に関する自然科学的内容の講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行う。文化遺産の保護・継承にかかる理解や関心、行動のほか、理科ないし美術を担当し、生徒をはじめとする他者と協働しながら課題の解決に立ち向かう教員・教育者としての資質・能力を総合的に評価する。

別表 8

総合型選抜における第二次選考（大学入学共通テスト）利用教科・科目一覧

下表は、第二次選考（大学入学共通テスト）の成績利用方法をまとめたものです。受験の際は最低限、下表の通り判定ができるよう受験してください。必要科目が1つでも未受験の場合は、第二次選考の判定ができず「不合格」となりますので注意してください。複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、最も高得点の教科・科目の成績を用います。

専修	大学入学共通テスト 利用教科・科目
教育学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は理科から1科目（100点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
心理学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は「情報Ⅰ」から1科目（100点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
幼年教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
特別支援教育専修	①外国語から1科目（200点） ②下記の i. ii. のいずれか（400点） i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から4科目 <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕 合計600点</u>
国語教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
社会科教育専修	①外国語から1科目（200点） ②地理歴史・公民から2科目（200点） ③下記の i. から iv. のいずれか（200点） i. 「国語」 ii. 数学から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 数学から1科目及び理科から1科目 <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕又は〔5教科5科目〕 合計600点</u>
数学教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「数学Ⅰ、数学A」及び「数学Ⅱ、数学B、数学C」（200点） ③下記の i. 又は ii. のいずれか（200点） i. 「国語」 ii. 地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科5科目〕 合計600点</u>

専修	大学入学共通テスト 利用教科・科目
理科教育専修	○以下の (1) 又は (2) のいずれか (1) ①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③理科から1科目 (100点) ④地理歴史・公民、数学又は理科 (③以外の科目) から1科目 (100点) (2) ①外国語から1科目 (200点) ②理科から2科目 (200点) ③「数学から2科目」又は「地理歴史・公民から2科目」のいずれか (200点) <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕 (1) (2) いずれも合計 600 点</u>
音楽教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目 (100点) <u>〔3教科3科目〕 合計 500 点</u>
美術教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から1科目 (100点) <u>〔3教科3科目〕 合計 500 点</u>
保健体育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」又は「情報Ⅰ」から1科目 (100点) <u>〔3教科3科目〕 合計 500 点</u>
家庭科教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②地理歴史・公民から1科目 (100点) ③理科から1科目 (100点) ④地理歴史・公民又は理科のうち、上記②③を除いた1科目 (100点) <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計 500 点</u>
技術教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・A」 (100点) ③数学 (②以外の科目)、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 (200点) <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計500点</u>
英語教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目 (100点) ④「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (100点) <u>〔3教科4科目〕 合計 600 点</u>
書道教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学、地理歴史・公民又は理科から1科目 (100点) <u>〔3教科3科目〕 合計500点</u>
文化遺産教育専修	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 (200点) <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計 600 点</u>

別表8「総合型選抜における第二次選考(大学入学共通テスト)利用教科・科目一覧」における留意事項

◎大学入学共通テストの教科・科目一覧表
○外国語
・『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
○国語
・『国語』
○数学
・『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』
・『数学Ⅱ、数学B、数学C』
○地理歴史・公民
・『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』
○理科
・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』
○情報
・『情報Ⅰ』

- 外国語については、全専修必須とします。
- 外国語のうち『英語』を選択した場合、リスニングの成績も用います。
その場合、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。なお、リスニング免除者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。
- 数学、地理歴史・公民、理科について2科目受験した場合、高得点の科目の成績を優先し、用います。
- 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つの出題範囲を選択し、『物理』『化学』『生物』及び『地学』の4科目から1科目を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することも可とします。

例：理科（基礎を付している出題範囲）→物理基礎、化学基礎
理科（基礎を付していない出題範囲）→化学

- 地理歴史及び公民については、以下のとおりとします。
ア 以下の6科目のうちから最大2科目を選択。
『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』
イ 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」「歴史総合」「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
ウ 地理歴史及び公民から2科目を選択する場合においては、以下に留意してください。
・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答が可能な組合せは以下のとおりです。

○：選択可能 ×：選択不可

	『地理総合／歴史総合／公共』		
	「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
『地理総合、地理探究』	×	×	○
『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
『公共、倫理』	○	×	×
『公共、政治・経済』	○	×	×

※表中の『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

Ⅷ. 令和 7 年度大学入学共通テストの利用教科・科目の旧教育課程履修者等に対する経過措置について

新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義は以下のとおりです。

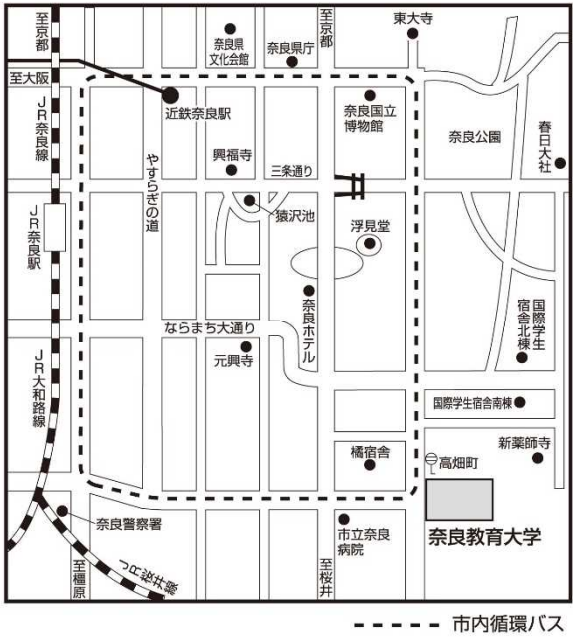
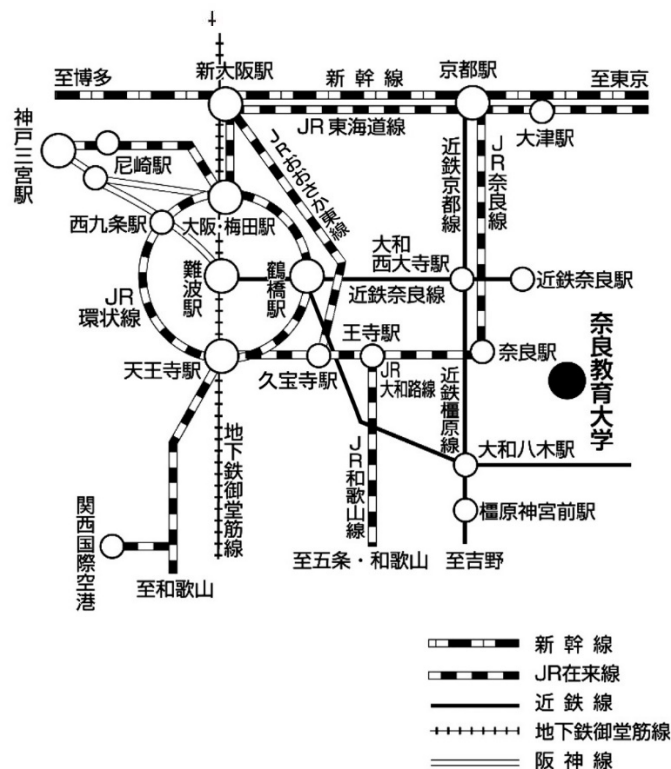
新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和 4 年 4 月に入学し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月に進級し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在学教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和 7 年 3 月卒業見込みであるが入学は令和 4 年 3 月以前の者など上記に該当しない者

旧教育課程履修者等のうち希望者は、大学入学共通テストが実施する旧教育課程履修者等に対する経過措置に則って、経過措置科目も選択できることとします。下記表を参照してください。

教科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置	
		旧教育課程による出題科目	解答方法
国語	『国語』	なし	—
地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』	『旧世界史 A』 『旧世界史 B』 『旧日本史 A』 『旧日本史 B』 『旧地理 A』 『旧地理 B』	次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新教育課程による出題科目の 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答する。 イ 旧教育課程による出題科目の 10 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答する。ただし、同一名称を含む科目の組合せで 2 科目を選択することはできない。（注 1） 新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできない。
公民	『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	『数学Ⅰ、A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学 A』 『旧数学Ⅰ』	新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を合わせた 4 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。
	『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』	『旧数学Ⅱ・旧数学 B』 『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を合わせた 5 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	なし	—
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	なし	—
情報	『情報Ⅰ』	『旧情報』	新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を合わせた 2 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。

（注 1）「同一名称を含む科目の組合せ」とは、『旧世界史 A』と『旧世界史 B』、『旧日本史 A』と『旧日本史 B』、『旧地理 A』と『旧地理 B』、『旧倫理』と『旧倫理、旧政治・経済』及び『旧政治・経済』と『旧倫理、旧政治・経済』の組合せをいいます。

奈良教育大学への順路



京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

J R東海道本線で大阪駅へ、J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

J R大和路快速で、J R奈良駅まで約33分＋市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ
J R大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ